

# 国見においでください

～町の魅力発信中～



7月27日、ふくしま国見Dayが仙台市内のホテルを会場に行われました。今回の催しは、これまで実施していた首都圏に代わり、仙台圏でも国見町の魅力を発信し、町を応援してもらおうと初めて企画しました。仙台圏からの参加者約100名をはじめ、国見町から参加した生産者など、大勢の人で会場は終始和やかな雰囲気。会場あちらこちらに談笑の輪ができていました。

開会に先立ち、太田久雄町長が国見町の紹介をした後、「今日は、国見町の美しいもの、素晴らしいものをたくさん用意しました。国見の魅力を体感し、国見町へどうぞお越しください」とあいさつ。

会場内には国見町産の食材を使った料理や商店街の



会場では国見の農産物や加工品が大人気



参加者は国見の食を堪能



## 仙台圏の人々と ふくしま国見Day

「国見町は、シティ・プロモーションの一環として、仙台圏で国見町の魅力を発信し、町への交流人口を増やす取り組みを行っています。」

名産品が並び、参加者は国見自慢の味を堪能。販売コーナーでは、旬のモモや加工品などを買い求める人で賑わいました。ステージでは、町指定無形民俗文化財の「内谷春日神社太々神楽」が披露され、会を盛り上げました。



馬鍬に苗を供えた「さなぶり」(国見町史より)

さなぶり

「さなぶり」は、田植えが無事に終わったことを祝う行事で、水田の水口（取水口）付近に植えた苗を抜いて束ね、水洗いし、餅やお神酒などとともに、田植えで用いた“馬鍬”（家畜やトラクターの力を使い、土の破碎、ならしを行う農具）や神棚などに供え、田の神（“おかまさま”ともいう）などに感謝する風習をいいます。家族で行うことを「小さなぶり」、集落単位での祝いは「大きなぶり」といい、各地区でさまざまな形態や伝承があります。現在でも、一部の農家で行われ、田植えで使用した農機具などにお供え物をし、餅を食べて、田植えが終わったことを労います。

【問い合わせ：歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】

### ～今月の表紙～



くにみ幼稚園のプールの時間。プールを待ちわびていた園児たちは、夏空のもと元気いっぱい水あそびを楽しみました。

### 目次

- 2 目次
- 3 国見においでください町の魅力発信中
- 6 国見町応援大使 沢木順コンサート2019
- 7 夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動
- 8 笑顔あふれるくにみキッズフェスティバル ほか
- 10 子育て世代包括支援センター愛称選抜総選挙
- 11 国見まちづくり株式会社決算状況、笑顔のひろば ほか
- 12 がんばるみんなを応援、オリンピック聖火ランナー募集中
- 13 歴まちさんぽ
- 14 まちのわだい
- 16 保健だより
- 18 暮らしの情報
- 22 生涯学習つうしん
- 24 カレンダー